



発行所  
日本共産党東部地区  
岩国市委員会  
岩国市山手町4-3-5  
22-2245

10月号

市議会議員  
大西明子  
山田泰之  
坪田恵子



お読みください  
日刊 月 3400円  
日曜版 月 800円



### 市民会館に

### 洋式トイレの増設を要望

市民会館で大きい行事があれば洋式トイレの前で行列ができる。洋式トイレを増やしてという住民の声を届けました。  
市も一階には障害者用に一ヶ所しかなく、洋式トイレの増設の要望は強いので改修計画との関連もあるが、できるだけ早く対応したいと答えました。

## 平成二十二年 度決算議会報告

九月議会は昨年度の歳入決算額663億1234万7995円、歳出649億7388万1877円、差引13億3846万6118円で、繰越財源1億3527万5925円を除いた実質収支は12億319万193円の黒字会計を認定しました。

主な事業としては、子ども手当支給事業、医療施設用地取得費、小・中学校施設耐震化推進事業、山口国体岩国実行委員会負担金、川下地区運動広場整備事業、介護基盤緊急整備等補助金、各特別会計への繰出し金ほか、財政調整基金の積立金62億7043万6千円などがあります。

日本共産党市議団は、基地政策、同和問題などを指摘し、決算に反対しました。

また平成24年度の補正予算16億5038万5千円を審議採択されました。35議案が提案され、日本共産党市議団は議案第121号岩国市水道条例の一部を改正する条例に反対いたしました。



### 市民に説明不足の値上げに反対

水道局が発表した値上げに対して、多くの方から意見が寄せられました。耐震化はどの地域からやるのか。なぜ10年計画なのか。

10年過ぎたら料金を元に戻すのか。27%の値上げは高すぎる。特に年金が年々下がっている中、消費税も上がる。水道料金も上がるというのは、年金暮らしには堪えるという強い声がありました。

### 住宅リフォーム助成事業の実施状況について質問

受け付け件数、申請金額、リフォーム工事の内容、施工業者の受注件数について尋ね、受付件数は426件、申請金額3093万4千円、リフォーム工事の内容は屋根や外壁の改修、台所、トイレ、浴室等の改修が多い。

施工業者の受注件数は164社の内、1社で28件、23件とあり、45件の受注が16社、2、3件が45社、1件の受注が87社の受注であることがわかりました。  
問題点は、1社が28件も受注しており、10月からの受注で同

岩国米軍基地を飛び立ったオスプレイ



じ業者が又多数受注する恐れがあり、受注件数に制限をすよう提案。しかし、当局は経営努力で受注しているので難しいと答えました。

山田議員の一般質問

岩国米軍基地に関する諸問題

MV-22オスプレイ配備について、全国知事会は「関係自治体や住民が懸念している安全性が確認できない状況では受け入れることはできない」とハワイでのオスプレイの配備にあたって、同機がもたらす強烈な吹きおろしの風などによる環境への悪影響を考慮して、計画していた飛行訓練を中止、ニューメキシコ州でも住民から安全性を懸念する池が多く寄せられ飛行訓練を中止しています。

日米両政府は、沖縄はもちろん全国各地で反対の意思を表明しても強引に移駐させることは「日本人は動植物以下」との認識で、屈辱的でもとも許せるものではないと指摘。市長はオスプレイの配備等については、現時点においては、安全性に対する不安が払拭されず、試験飛行を認めないと答弁しました。

錦川に関する諸問題

錦川川づくり検討委員会が、最終会の委員会で「平瀬ダム再開」の了承を県主導で強行採決しました。

護岸工事を進める方がダム建設より治水効果が大きいと質問し、治水対策を求めました。答弁では、平瀬ダムの被害軽減効果に対してはまともに答えることができず、平瀬ダム建設を推進する答弁に終始しました。

錦川総合開発事務所によると、平瀬ダムによる被害軽減効果は50cmの水位低下。平成17年の台風14号の時、南桑地区は2.2メートルの床上浸水でしたが、平瀬ダムが出来ても1.7メートルの被害が発生。740億円の巨費で自然環境を壊すより河川浚渫・



学校プールの管理について

夏休みに入って間もなく、娘が学校のプールで怪我をした」との電話があり、小学校の先生にお聞きすると6名の児童がけがをしたとのこと。教育委員会は予算がないの一点張り、市内のプールの管理はどのようになっていくかの質問に教育委員会は子供たちの危険防止にはきっちり対応していくとしました。

坪田議員の一般質問

南岩国駅のバリアフリー化

早期実現を

愛宕山へ医療センター及び介護福祉施設の移転に伴い、南岩国駅の利用者は今以上に増加すると思われる。一日の乗降客数が約3800人と3000人を超える南岩国駅は、高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」が適用されます。市としてJRに強く要望することを求めた質問に対し、答弁は「バリアフリー化に要する経費は国の補助対象となり国が1/3、

放課後児童教室が整備されます

藤河、御庄地区の放課後児童教室を早急に整備するよう六月議会で要求しましたが、このたび、御庄地区の放課後児童教室がJAの空部屋を利用して整備されることになりました。予算は163万円で11月1日から、新たな教室でスタートします。小学校のランチルームの窮屈な片隅で子供たちは過ごしていましたが、今後はのびのびと放課後を過ごすことになりました。



教育問題

つぎめこについて

JRが1/3、岩国市が1/3の負担となる。現在岩国駅舎の改築等の要望や南岩国駅の段差解消等の要望を行っているが、今後は、バリアフリー化についても要望していくと答弁しました。中学校区ごとに配置されているスクールカウンセラーを各小学校にも巡回を求める質問に対し、答弁は「必要に応じて配置を考えていきたい」としました。

高校生の就職状況と

市の取り組みについて

山口県内では今年に入り大企業のリストラ合理化が強行されています。中でも電気産業・大手のルネサスやMCS、シルトロニクスの3社で2200人と全体の80%にあたる大リストラです。市内11校の高校生の就職状況はどうか。市長が地元企業に働きかけることが必要との質問に対し、答弁は「若者の地元企業への就職支援策として、市長が市内各事業所を訪問し、新規学校卒業予定者の求人確保の要請をおこなっている」と応えました。